

春号  
第325号

# 一粒の麦

社会福祉法人エデンの園

2022年4月16日

ひとつぶのむぎ

ようこそ！新年度！



聖書のことは

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。  
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。（聖書 ヨハネの福音書12章24節）



## ～言葉は大きなちからに～

第2福祉課 マネージャー 工藤由美

昨年2月にエデンの園、第2福祉課マネージャーに就任し、あっという間に1年が過ぎ去りました。エデンの園に入職し沢山の方との出会いがありました。もしかしたら、まだ、お会いしていない方もいる方もいるかもしれませんが、出会いに感謝しています。

一昨年1月に新型コロナウイルス感染が広まり、現在も全国的、世界的に大きな影響を受け続けており、終わりが見えない現状となっています。今後も感染対策をしっかりを行い、緊張感を持ち続け安心、安全な支援、事業運営が求められてきます。コロナウイルス以外にも、ストレス社会の中で、誰もが色んな事で、日々ストレスを抱え、感じながら生活を送っていると思います。この中で誰かの一言（言葉）に励まされたり、弱気な気持ちを奮い立たせてもらったりしたことはありませんか？「笑顔になりたい時」・「元気が欲しい時」・「勇気を出したい時」・「ちょっと背中を押してほしい時」偉言でも人生を支えてくれたり、その時々のお励みになったり、大きく運命を変えてしまうほどの影響力を持つ言葉に出会う事もあるかもしれません。長い人生の中で、沢山の壁にぶち当たったり、つまずいたり、行き詰ったり、迷ったりすることは誰もが1度は経験することだと思います。どんなに行き詰っても自分で打開していかなくても道は開かれません。迷ったり、立ち止まったりすることもあると思います。しかし次に立ち止まった時に、少しでも前へ進む事ができていれば良いのではないのでしょうか！もしかしたら小さな1歩かもしれませんが、人の歩幅は

違って当然です。仕事や人生に関する事など、いろんな壁にぶち当たりながらも生きていく上で誰もが持つと言われる感情が欲望あり、幾度かの迷いだったり、時には後悔かもしれません。

私の長い人生の中でも、ある人に「迷って当然」と、言われたことがあります。その時、なぜだか安心しました。多くの方が自分と同じように迷い悩んでいる事に改めて安心感を持ったことを今でも覚えています。まずは迷っている自分自身を受け入れていくことの大切さ。でもそこで、誰かがいつでも手を差し伸べてくれるのを待つだけでは前進、成長はないとも思いました。色んな迷いがあり、それに向き合う事で、新たな自分を見つけ出すことができた時の喜びを体験しました。毎日の仕事や生活の中で、色んな感情の変化があります。少しでも楽しいと思えることや、やりがいがあれば、たとえ辛い事があっても乗り越える事ができるのではないのでしょうか？エデンの園でも、たくさんの利用者（児童）様に出会えました。私たちの仕事は楽しい事ばかりではありませんが、辛いことがあっても、利用者（児童）様の方々と接する中で、ひとり一人との会話の大切さや、表情から湧き出る笑顔に励まされ、元気をいただき、次のエネルギーやモチベーションへ繋げていけるのではないのでしょうか？「利用者様が一番」「子どもがまんなか」私はエデンの園に来て、この言葉に出会いました。この言葉を大事にし、ひとり一人の声（言葉）に耳を傾け、支援に繋げることで、私たちも一緒に笑顔になれると思います。

# 今年度もよろしくお願ひします

## エデンの園 第1福祉課

### ●エデンの園

#### お花見会

暖かくなり、エデンの園でも桜が見ごろとなりました。花の街の花壇にはチューリップが咲き、駐車場には菜の花が咲きました。

また、各エリアでお花見を計画し昼食やおやつを楽しめました。利用者さんからは「桜きれいやね。」や「美味しかった。」と声が聞かれました。また、職員も一緒にお花見し利用者さんとの賑やかな雰囲気味わえました。

これからも行事など楽しみを増やして利用者さんと沢山笑って過ごして行けたらと思いました。

障がい者福祉施設エデンの園 生活支援員 河野 仁美



### ●エデンの園 ふれあい

#### ミニコンサートを今年も開催しました!!

日差しが徐々に暖かくなり、春の訪れを感じ始めた3月4日に、ふれあい春風ミニコンサートを開催しました。午前中は、SKB（サンライズ国富バンド）の皆さんが、花をテーマとした曲や、春の青空を見上げたくくなるような曲を中心に、心に響く素敵な歌と演奏を披露してくださいました。午後は、男性職員のを張ったダンスで会場が笑いに包まれた後、全員で音楽に合わせて身体を動かし、楽しい時間を過ごしました。

音楽は、身体を健康にし、心を豊かにし、人と人との繋がりを深めてくれます。これからも、利用者の皆様が笑顔になれる時間を増やしていけるよう、音楽とのふれあいを大切にしていきたいと思ひます。

エデンの園 ふれあい サービス管理責任者 本嶋 恵理夏



### ●エデンホーム三名

#### 「僕、還暦です。」～誕生日

ホームみらいでは利用者の誕生月に誕生会を実施しています。1月生3名、2月生2名、3月生1名、4月生1名、9月生1名です。今年1月誕生日をおかえた梅木さんが60歳（還暦）になりました。「僕還暦じゃ。赤いちゃんちゃんこ着らんといかん。」と誕生日会を楽しみにされていました。1月は30日に実施しました。華ぜんより弁当を取寄せ、さしみ、揚げ物、煮物、酢の物、海苔巻き、いなり、まんじゅう、くだものいつもより豪華な弁当でお祝ひをしました。プレゼントは本人さんが希望する物を渡し、楽しいひと時を過ごしました。

エデンホーム三名 世話人兼支援員 町田 紀恵





# (それぞれの事業所からのご挨拶)

## エデンの園 第2福祉課

### ●就労継続支援B型事業所つむぎ



ランキュラスの花摘み作業の様子です

#### 綾園芸の作業頑張ってます！

最近、気温が20℃以上ありハウスの中は30℃近くなる為、利用者様は厳しい環境の中での作業をしてくださっています。なので、熱中症対策として40分に一度の水分補給を取りながらの作業を行っています。

綺麗な花に囲まれての作業は楽しいと言われる利用者様が多いので負けずに頑張りたいと思います。

目標工賃達成指導員 小川 眞一

### ●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

#### 遠足

3月28日に麦わら遠足を実施しました。コロナ感染症の影響で場所が変更となりましたが、子ども達は身体をたくさん動かしたり、おやつをたくさん食べたりなど、一人一人好きな過ごし方で楽しむことが出来たと思います。場所が変更となり子ども達の反応が気になりましたが、「楽しかった!」「まだ遊びたい!」などと楽しめたような反応が返ってきて、計画した職員も安心した所です!

今年度はコロナ感染症も落ち着き、制限が無い中で実施出来れば良いなと感じた所でした。

児童指導員 星崎 悠成



外でご飯を食べました♪



ボール遊びをしました☆

### ●エデンホーム森永 (青い鳥・ほのか)

#### 気分転換にドライブへ出かけました☆

エデンホーム森永では、休日や祝日を利用して気分転換にドライブなどの行事を日々取り入れています。毎回人ごみの少ない場所を選定し、行き場所を決めて実施しています。今の現状から外出や外食といったことは大変難しく、希望通りにいかないことも多い状況ではありますが、少しでもストレスの軽減に繋がるように、感染対策を講じた上での環境面の配慮も行いながら今後とも実施していきたいと思っています。前文でも挙げましたように、希望通りにいかないことも多いですが、出来る範囲で精一杯出来ることを確実にやっていけたらと思います。

エデンホーム森永 保利 翼



桜の下で写真撮影



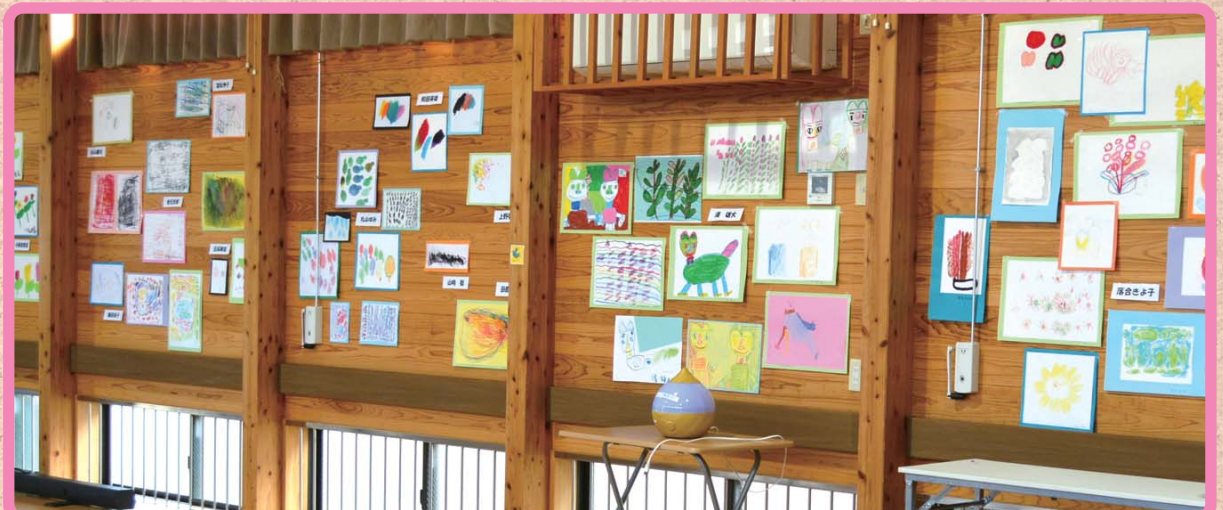
法華嶽公園に行ってきたよ♪



# 生活と余暇活動の中から生まれた **とっておきの絵画展**

障がい者支援施設エデンの園では、日々の活動で一年を通して絵画に取り組んできました。その一年の集大成として、2月21日～3月7日まで絵画展を開催致しました。コロナ禍という事で、大々的には出来ず施設内での開催となりましたが、利用者さんや職員で日々制作された作品を鑑賞しました。色とりどりの作品が並び、利用者さん一人ひとりがアーティストとして作品を披露されていました。利用者さんたちがアーティストとして活躍できる場として、次年度以降は大々的に開催し多くの方々に作品を披露できたらと思います。

法人事務局リーダー 光 森 勇 人





## 新年度開始!

皆さん、こんにちは。新年度が始まりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、皆さんは物語に触れる機会はありますか？小説、ドラマや映画、マンガやアニメなど様々な物語が世の中に溢れています。そんな物語ですが、私は先日まで録画して楽しみに観ていた2つのドラマがありました。それは、マンガが原作の『妻、小学生になる。』と朝ドラ『カムカムエヴリバディ』です。

話題になっていたドラマですし、観ていた方もいらっしゃるかと、思いますが、どのような物語だったかという点、『妻、小学生になる。』は亡くなった妻が小学生になって帰ってくるというスゴイ設定の物語で、『カムカムエヴリバディ』は三世代の女性たちが紡いでいく百年の物語でした。どちらの物語にも共通していたのは、家族との絆、そしてその家族に関わる人々との繋がりでした。そこにはお互いを思いやる心がありました。

現代社会における家族は、半世紀前とは大きく変わっています。コロナ禍においては、社会における家族の問題が表面化してきた部分もありました。そんな時代のドラマだからこそ家族について考えさせられました。このドラマを通して考えたことを活かして、利用者様とご家族に寄り添いながら支援を行っていただければと考えています。



## <エデンの園相談支援事業所>

国富町の森永地区にあるので、いつでも遊びに来てください。写真の右側（西側）に入り口があります。ちなみに、相談支援事業所 麦わらぼうしではなく、麦わら帽子は隣の事業所になります。

## 土曜学校メッセージ

金垣基牧師（宮崎めぐみ教会）、印 慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）  
海老原直宏（宮崎北聖書キリスト教会）、山口英希牧師（宮崎清水協会）  
荒平 大輔（宮崎北聖書キリスト教会）

## 寄贈品・寄附金・ボランティアありがとうございます。（1月～3月）

宮王丸郵便局様、JA 宮崎中央燃料課様、宮崎福祉医療カレッジ様、田代貞子様、長友さゆり様  
櫻木香様、山口美智子様

## 編集 後記

今年度を迎え早くも3週間という時間が過ぎました。前年度におきましては、コロナの影響で日々我慢する事も多く、苦しい毎日でしたが、今年度は少しでもコロナの状況が落ち着き、社会が楽しく明るい未来で、そして一人ひとりが自分らしく生活できるような環境に戻る事を願うばかりです。今も尚増え続けているコロナではありますが、感染防止対策においては一人ひとりがしっかりと意識を持って、拡げない・増やさない気持ちで過ごしていきたいと思います。今年度も宜しくお願いします。

エデンホーム森永 保利 翼